

(別紙3)

公表	事業所における自己評価総括表
----	----------------

○事業所名	Linoぶれいす千里丘			
○保護者評価実施期間	2025年 9月 1日		～	2025年 9月 30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	34	(回答者数)	24
○従業者評価実施期間	2024年10月1日		～	2024年10月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数)	5
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 12月 1日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	高校卒業後の進路	自社の就労移行支援事業所より保護者を対象に高校卒業後の進路についての説明会を行うことで、保護者の将来に対する不安を軽減する取り組みを行った。また、B型作業所での作業を体験するなど、将来の職業選択の幅を広げるための活動なども行っている。	現在も企業にご協力いただき職場体験を行っているが、その数を増やすことで、今よりもさらに職業選択の幅を広げられるよう取り組んでいく。
2	保護者との交流の場づくり	家族支援や相談業務に加え、季節のイベントに保護者を招待し、子どもたちの普段の様子を見ていただいている。また、毎月親子で参加できるクッキングイベントを開催し、そのなかで、親子で参加できるおでかけイベントなどにも取り組んでいる。	保護者が子どもたちの普段の様子を見たり、悩みや不安を相談できる場は設けているが、保護者同士の交流を主とした交流会は実施できていない。今後は保護者同士が交流しやすいイベントの実施も企画する。
3	他機関連携	学校や家庭内でのトラブルがあった、学校に思うように行けていないなどの問題があったとき際、学校や相談支援窓口とは情報共有を図るなど、自施設だけでは解決が難しい問題も、他機関と協力しつつより良いかたちで問題解決できるよう臨んでいる。	なにかがあってからの対応だけではなく、日ごろから情報交換をこれまでよりも密に行うなど、顔の見えるネットワークの構築を心がける。また、場面に応じて、必要な他機関と連携が取れるよう今後も連携先を増やしていく。地域での会議や研修会への参加の機会も増やしていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域との交流	日頃から当施設が入っているマンションの方々とはすれ違う際に挨拶をしたり、近隣の店舗の方々へは年末にご挨拶にうかがっていた。ただ、それ以上の交流を持つことができていなかった。	地域の市民農園を活用することで、挨拶からはじめ地域の方々との交流をとるようにする。また、地域の子ども食堂を活用し、地域の方々との交流ができるよう図る。
2	早い段階から多くの方々に見学に来ていただいているが、枠がなく利用につなげられていない。	卒業や退所される方が少なく、新規で利用を希望される方にも多くお待ちいただいている。	学年が変わる年度末ではなく、年末などの早い段階から空き状況や今後の見通しなど、連絡を取り、伝えるように進める。
3	保護者を対象としたペアレントトレーニングの実施や学びの場づくり	保護者が子どもとかわる際の悩みについては、相談業務等の中で個別に対応しているが、ペアレントトレーニング等の実施はできていない。	悩みや不安を抱える保護者にペアレントトレーニング等実施できるよう準備を整えていく。また、勉強会などの学びの場も開催できるよう取り組んでいく。